

## TTC新会員入会基準の 明確化について

会員募集チラシ(厚木 Wild-1)及び厚木市広報「街かど伝言板」(9/15 発行)への TTC ムパ 募集案内を見ての入会問い合わせがあり、早速9月例会に3名の方が見学に来られました。

今まで曖昧だったTTC入会の年齢等の基準について、これを機会に以下のように明確化しました。①現役ムパ数の上限を60名とする(従来基準を再確認)。②入会後の活動期間を考え、以下の入会時年齢制限の内規を設ける; (a)未経験者: 63歳以下、(b)経験者: 65歳以下。

## 東日本大震災義援金の 拠出時期を半年延伸

日本赤十字社の表記義援金募集期限が2013年3月31日まで延伸されたのに伴い、本年度山行ムパ金50%相当分をTTC第4回義援金として拠出する時期を2013年3月まで遅らせることにいたしましたので、引き続きご協力をお願いします。

## 百名山完登のお礼として 金一封を寄付頂きました

8/6の加賀白山で日本百名山全山登頂を達成された(氏名削除)さんから、金一封20,000円のご寄付を頂きました。今後購入する共同装備品の資金として活用させていただきます。ありがとうございました。

## 11月定例山行を差し替えます

11/3(土)実施予定の日帰り定例山行「鐘ヶ岳北尾根」を「大山金比羅尾根」に差し替えます。これは鐘ヶ岳北尾根コースを下見した結果、コースの一部に密集したスズ竹の藪漕ぎがあり、定例山行とし不相当と判断したため。4月に悪天候で中止した大山金比羅尾根に差し替えます。

## 来年度山行希望アンケート

来年度山行希望場所をお聞きするアンケート用紙(EXCELファイル)をお配りしますので、11月例会(11/17)までに、記入して電子ファイルで(または紙に記入)坂本さんにご提出ください。

## 山行実施結果報告

★蓼科山(定例)★★8/25(土)日帰、ハイース利用、申込5名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。キャンセル者多数による参加者減により中止。

★富士山(提案)★★9/1-9/2;1泊2日、マパ利用、参加7名。天候:曇後雨。CL/計画:、SL/車提供&ドライブ:、会計:、救護:スタッフ名削除。悪天候のため8.5合山小屋から撤退。

★西丹沢畦ヶ丸(定例)★★9/8(土)日帰、マイクロバス利用。参加13名。天候:晴。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。静かなコースを歩き、下山後ぶなの湯で一浴。

## 至近の山行予定

◇北7燕岳・餓鬼岳(提案)★★★9/28-9/30;2泊3日。ハイース利用。申込8名。CL、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。追加募集中。

◇北7笠ヶ岳(提案)★★★10/6-10/8;2泊3日。マパ利用。申込6名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。追加募集中。

◆西丹沢ユージンキャンプ(定例)★10/13-10/14;1泊、公共交通利用。申込11名。CL/計画:、班長://スタッフ名削除。

◇袈裟丸山(提案)★★10/21(日)日帰、ハイース利用。申込10名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

◇北八しらびそ小屋・中山峠(提案)★★10/27-10/28;1泊2日、公共交通利用。申込7名。CL、SL、会計/計画:、救護:スタッフ名削除。

## 山の花、野の花

### タカネマツムシソウ【高嶺松虫草】(マツムシソウ科マツムシソウ属の多年草、別名:ミヤママツムシソウ)

亜高山帯の草原に群生するマツムシソウを基本種とする高山型変種。マツムシソウが茎高約60-90cmで、直径4-5cmの淡青紫色の花を咲かせるのに



2012.8.6 白山観光新道にて

対し、タカネマツムシソウは茎高20-30cmと低く、長い花柄の先端に直径5cmの大型の頭花を1個付ける。花色は鮮やかな碧紫色、時に淡紅色や白色もある。本州中部以北と四国の高山帯に分布。花期は初秋の8-9月。高山の風衝の激しい尾根や、やや乾いた草地、砂礫地に好んで群生する日本固有種。葉は対生して、羽状に裂け、裂片はさらに裂けている。

タカネマツムシソウの群生地は、白山(標高2000m以上)が特に有名であるが、北ア朝日岳、八方尾根、飯豊山、石鎚山等でも見られる。マツムシソウの群生地としては、美ヶ原、霧ヶ峰、湯の丸高原、高峰周辺、清里飯盛山、御坂山塊黒岳等が知られている。

## 10月例会募集山行

### ◆大山金比羅尾根(定例)★★

11/3(土)日帰、公共交通利用。

### ◇大山梅ノ木尾根(提案)★★

11/24(土)日帰、公共交通利用。

### ◇丹沢表尾根(提案)★★☆

12/1(土)日帰、公共交通利用。

### ◆河口湖忘年山行(定例)

12/15-12/16;1泊2日、公共交通利用。  
(a)九鬼山しっかりコース★★/(b)九鬼山ゆとりコース★★  
☆/(c)宿泊先直行かを選択。

## 安全登山豆知識

### 「槍ヶ岳」それとも「槍ガ岳」?

「八●岳」や「駒●岳」の●の表記に「ヶ」、「ヶ」、「ヶ」、「ガ」、「ガ」、「ガ」等が使用されていますが、一体どれが正しい表記なのでしょう?

一方、漢字、ひらがな、カタカナ及びそれらの組合せ表記が求められる住所表示では、鎌倉「七里ガ浜」、横浜「鶴ヶ峰」、「希望が丘」と概ね3種類の表記がなされています。しかし、江ノ電の駅名表記は「七里ヶ浜」であり、その表記は統一されていないのが現状です。山名表記ではどうでしょうか?また、山名以外にも「ヶ」をka

(1ヶ月、1ヶ条)と読ませたりko「1ヶ」と読ましたりする略記法が用いられているのはご存じのとおりです。ところが、国語表記にカタカナの「ヶ」をこのように発音してもよいとする用例は認められていません。したがって、新聞等では「1ヶ月」とは表記せず、「1カ月」と表記しています。

そこで、NETに掲載されている「やりがだけ」の表記方法について検索調査した結果(2003.6現在)、「ヶ」86.0%、「ガ」7.2%、「が」2.8%、「ヶ」12.2%で、「ヶ」表示が大半で、「八ヶ岳」「駒ヶ岳」の場合も「ヶ」が圧倒的に多いことが確認されています。また、ガイドブック等の出版物での山名表記の違いについて調べてみると、現在山と溪谷社の出版物のみに「ガ」が多用され、一部「ヶ」

も混用されている。しかし、最近の国土地理院発行の地形図並びに他出版社発行のものでは「ヶ」に統一されているようだ。この不統一表記の理由はどうして発生したのか?

まず「ヶ」は漢字の「箇」「个」の略記号として、鎌倉時代から使われており、山名の[ga]は略記号の「ヶ」を用いるのが一般的であるようだ(カタカナの「ヶ」とは異なる)。しかし、戦後現代仮名遣いが定められ、国語表記として認められている「ガ」を使用することが出版界での申合せ事項になったという。しかし、その後、国土地理院発行の地形図の表記が「ヶ」に統一されたことから、「ヶ」が一般的表示になったというのが、これまでの経緯のようである。したがって、略記号の[ヶ]を使用した「槍ヶ岳」が正しい表記で、「槍ガ岳」は間違い。「槍ガ岳」「槍が岳」は推奨される表記ではない。

今後 TTC 内ではどう表記するか? ①カタカナ全角の同じ活字サイズの「ヶ」は使用せずに、略記号の「ヶ」を用いる。②ワープロ活字で略記号が出ないときは、活字の大きさが2~3ポイント小さいカタカナ全角の「ヶ」を使用する。③あるいは、次善の策として、同サイズの半角カタカナの「ヶ」を使用する。

## 山に想う

### きつかった高妻山登山

#066 氏名削除

私がTTCに入れて戴いては早7年にもなります。子育ても終わり、さてと考えるほとんど何処にも行った事がなく、まずは、海へ行こうか山へ行こうかと、贅沢に悩んでみました。「海が好きか 山が好きか」などと聞かれたら、ためらわず「海」と答えるのですが、行くとなればそれは山でしょう… 何故となれば普通の主婦ならばお金のかからない方と考えたのです。それでTTCに入会して初めて行ったのが上州武尊山… 知らない事ほど強い事もなく、なんとか登ってしまいました。それからは、いろんな山行に参加させていただきました。

今までで、一番印象の強い山は高妻山…なんとステキな響きでしょうか! 百名山の中でも、もう二度と行きたくない山だと後で知りました。申し込んでみたものの、なんだか自信がなくなり数日前にCLに恐る恐る電話でキャンセルを申し入れたのですが「大丈夫 だいじょうぶ!!」と何とかなるサア〜とは言わなかったけれど受け付けてもらえません!

朝4時に起床、戸隠高原のキャンプ場を5時頃抜けて歩き始めて、その道のりの長い事、長い事 険しい事 距離があるのは、もちろん覚悟の上ではありましたが… それまでの私の経験した山は、登って登って頂上があり、イヤになるほど下って下ってというのが大方でしたので、なんなの?この山は何回登って下って、登って下って行くんだろう… 鎖場があり急登の岩場を必死で登り、谷を下り、しかも高妻山に着いたら この道を又戻って… なんと此処で待ってればいいのカーと必死で考えました。でも計算すると2時間も待つことに… 誰もここで待つと言いつす人は、いないのかと見渡しても居そうもないのでグジ腰をあげました。

そして、長い長い高妻山は、夕方の5時近くに、ようやく戸隠の牧場もどることができました。その行動時間はほぼ12時間!私の最長記録となりました。ホントに辛くて苦しい山でした。ホントに二度と行きたくないと思えました。でも戸隠に戻って来て牧場を横切っている時の嬉しさ、ソフトクリームの美味しさは今も忘れられません。

山登りは、私にとって体力的にきつい事はもちろんですが、この高妻山は精神的にも辛い物がありました。でも、この山行は後に何か苦しい事があると何時も思い出します。高妻山に行ったんだ。あの山を登ったんだという事が自分の自信になっている事に気がきました。今年はお病みや怪我が続いていて、なかなか山行に参加できていませんが、また元気を出して行きたいと思います。

次回 氏名削除さんの登場です。

10月例会: 10/20(土) 厚木市  
睦合南公民館 1F/展示室; 安全登山教室 18:30-19:30、例会 19:30-21:00。世話人会: 18:00-18:30。